

英語

大学受験 合格手記



絶対に行く



皆さんの先輩たちの手記です。お役に立てばという気持ちで書いていただきました。合格手記のうち一部を掲載しました。参考になれば幸いです。

お茶の水女子大学文教育学部学科合格

A子 (松山東05年卒現役)

私は英語が大の苦手でした。今もすごく得意とは言えません。しかし苦手意識はなくなりました。これは英語アカデミーのおかげです。私は3年の夏から英語アカデミーに通い始めました。夏に10日ほど集中して単語を覚える講座がありました。自分が覚えた単語は、次の日には先生が消して下さっていて、覚えていない単語だけを集中して覚えることができました。この時覚えた単語は、センターや私大、国立の2次試験まで繰り返し覚えました。単語集もいろいろ買いましたが、結局使っていたのはアカデミーでもらった単語の紙です。あの紙の「5」まで覚えたら、センターは十分だと思し、「10」まで覚えたら私大にも対応できます。後は忘れてしまわないように何度も反復して覚えることが大切だと思います。3年間、勉強をまじめにしてきたわけではないので、えらそうなことは言えないけれど、無理だと思って受けてみるという姿勢が大切だと思います。私は全部そんな感じで受けました。最後まであきらめないことが大事です。英語アカデミーを信じて、最後まで粘り抜いて下さい。最後になりましたが、T先生、A先生、お世話になりました。ありがとうございました。

(夏期講習/センター対策、難関読解受講)

奈良女子大学 生活環境学部合格

(関西学院大学文学部、同社会学部合格)

B子 (松山南07年卒現役)

私は受験勉強を振り返って、英語に関して言うと、自分なりに頑張ってきたように思います。英語は好きだったので、得意というわけではありませんでした。アカデミーのセンター対策で繰り返し学習するにつれて自信を持てるようになりました。

私は9月からセンター対策講座を受講しました。単語プリントが毎回配られ、暇があれば毎日見て覚えしました。先生が「これだけ覚えればセンターに十分対応出来る!」とおっしゃっていたので、「たったこれだけか。私ならやれる!」と自分に言い聞かせました。(本当は量の多さに愕然となりましたが...笑い)最初のうちはあまり覚えられず何度も嫌になりましたが、繰り返すうちに自然と頭に入ってくるようになりました。休み時間や、電車、車の中、お風呂に入りながら、さらにトイレにも単語プリントを貼り、意識して覚えるようにしました。単語を覚える事で、長文も理解しやすくなりました。「継続は力なり」です!また今年のセンターはがらりと傾向が変わりましたが、アカデミーでは傾向が変わったりした時に備えて、近年の問題形式だけでなく様々な形式の対策をしてくださったので、「こんなにも変わったか!」と驚きましたが、焦らず問題を解く事が出来ました。

私は、点数にかなりの波がありました。センター直前の模擬テストで自分の思うような点が出ずとても不安になりました。しかし前日に、アカデミーで今までやってきた教材を机の上に積み上げ「これだけやった!大丈夫!」と自信を持ち本番に臨みました。日頃から意識をして英語に取り組む事が大事だと思います。

勉強していく中で、うまくいかない時もあると思いますが、自分を信じて乗り切ってください。そして合格を勝ち取って下さいネ。健闘を祈ります。

(通常コース、センターコース、難関読解コース、直前コース)



京都大学工学部合格

C男 (松山東05年卒現役)

僕は弓道で秋季国体に出場したため、本格的に受験勉強を始めたのは、国体が終わった11月。センターまでに残された時間はわずか3ヶ月でした。フルマラソンで例えれば1時間の差をつけた状態でスタートしてしまうようなものです。しかし、受験勉強はマラソンとは違います。勉強の方法・効率によってはこれだけ引き離されていても追い付くことは可能だと思います。もちろん、早く始めるのに越したことはありませんが、僕の勉強方法が何かの参考になれば幸いです。

思えば、僕が3ヶ月で巻き返して成功したのもそれ以前の土台があったことだと思います。僕は10年余り英会話を続けてきたのですが、ネイティブの英語になれていたことが幸いしてセンター、2次試験とも学習がはかどりました。2次試験では英語的なセンスや文化知識が重要になってきますし、2006年からはセンター試験でリスニングが行われるようになります。高校生クラスだけでなく、一般の英会話クラスも並行して受講するのがオススメ。

センター対策は「速読英単語(中級編・上級編)」と、アカデミーのセンター対策講座で単語・語法を押さえました。語法をマスターすれば180点は十分に狙えます。

2次試験は大学ごとに一応の傾向があるようですが、必ずそうなるとは限りません。現に、今回の2次試験は多くの大学で何かしらの変更がなされているようで、京都大学も出題形式の変更された問題がありました。アカデミーの2次対策講座では志望大学の傾向に囚われず、いろいろな形式の問題をこなせるように学習するので、出題形式が変更されても自信を持って対応できました。

また、2次対策で役に立つのが英会話と英字新聞。英会話で英語と日本語における表現の違いなどを身をもって学ぶことは、難解な文の和訳や英作文に対して有効です。また、英字新聞を読むことで、こなれた日本語とその英訳、あるいは逆に英文読解のコツなどを学ぶことができ、これは下手な参考書より数倍役に立ちます。時事問題なら前知識があるので意外と簡単に理解できるものなのです。

最後に、もっとも大事なのが「無理をしないこと」と「集中力」。「四当五落(睡眠時間が5時間だと落ちて、4時間に削れば合格する)」なんて言葉がありますが、これは全くの出鱈目。自分にあったやり方で集中して勉強すれば、少ない時間でも多くのことを学ぶことができます。身体を壊しては意味がありませんしね。

受験生だけでなく、1年生、2年生も、将来を見据えて自分の夢に向かって今できることを頑張ってください!

(夏期講習/センター対策、難関読解受講)

産業医科大学(医学部医)合格

D子(松山東04年卒現役)

1. アカデミーだから学べたこと

高3の春休み、初めてアカデミーの短期コースを受けました。たったの5日間でしたが、効果は歴然で、苦手だった長文読解がウロのようにすらすらと理解できるようになりました。単語力が一気にUPしたこと、速読のコツを教わり、毎日長文を何題も読みこなしたことの成果だと思います。でも1番の理由は、T先生の授業を受けられたこと。先生のお人柄と丁寧で分かりやすい授業にひかれ、合格を勝ち得るまでアカデミーでお世話になりました。

2. お勧めの本

私がお世話になってきた本は、学校やアカデミーで使っていた本ばかりです。英語のプロの人達が選ぶ本なのだから、確かにいい本ばかりでした。あれこれと自分で悩んで、いろいろな問題集や参考書を買うより、先生方が選んだ本をしっかりとこなせば、力は充分つくと思います。

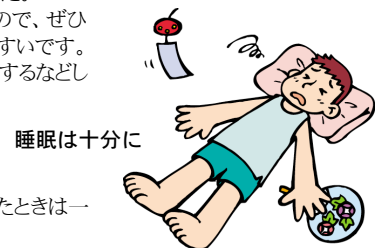
英語において一番の基礎であり重要なのは、やはり単語だと思います。数ある単語集の中でもZ会の「速読英単語必修編」はエッセイ付きだから長文読解もできておすすめです。私は上級編も使いました。覚えた単語が250、500と増えるにつれて、長文がどんどん読めるようになっていくのは、うれしいことです。単語は少しずつ覚えるのではなく、長期の休みを利用して短期間で一気に覚える方が私には合っていました。アカデミーでもこの本を使っていて、先生が作ってくださった単語の一覧表はとても役に立ちました。

問題集は、進研の「センター試験重要問題集」がおすすめです。長期休み前に学校で配られると思うので、ぜひきちんと解いてもらいたいです。文法や整序問題など単献ごとに分かれていますので、計画的に勉強しやすいです。また、問題集は解きっぱなしにせず、知らなかったことやよくするミスを書き込み、大事な成句をチェックするなどしておけば、自分に必要なことだけが書かれたオリジナルの一冊になるので、テスト前に重宝します。

それから、辞書も役立つ教材になります。単語の意味以外の知識も増えます。例えば、respectという単語を引くと、look up to が同じ意味で、反義語がdespiseだと分かります。さらに見ていくと、respectful が形容詞で、respective は「それぞれの」という別の意味であることもわかります。こうやって関連づけて覚えると頭の中で整理しやすいし、これらをマーカーでチェックしておけば次に引いたときは一目で分かります。こういったことを普段の予習に採り入れることも、受験勉強の一つになると思います。

受験生の皆さん、周りの人達への感謝の気持ちを忘れず、最後まで自分を信じて頑張ってくださいね。

(夏期講習/センター対策、難関読解受講)



愛大法文学部・総合政策学科合格

E子(松山南05年卒現役)

私の場合、もともと英語が大の苦手だったので、語い力をつけることから始めました。まずは、「速読英単語」をしっかり覚えしました。この本は実際出る単語を中心にまとめているので、語い力をすぐつけたいならおすすめです。語い力がついた後は、アカデミーのセンター対策授業をベースにセンター対策をしていきました。授業中に集中するのも大切ですが、復習も大切です。私はその日中になるべく復習するようにしていました。このおかげで、対外模試などの点数も以前では考えられないほどのよい点数になっていました。

マーク式についてですが、私には記述式より向いていたようで、独特の傾向にもすぐ慣れました。ただ、私は文法が苦手だったので、文法の教材プリントを何度も解いていました。厚い参考書や問題集を買うより、アカデミーのコンパクトにまとめたプリントの方が効率も良く、いいと思います。長文はとにかくたくさん読むことが必要です。ここでは速読が役に立ちました。試験は時間との勝負なので、少しでも速く正確に読めた人の勝ちです。私は1日1題以上読むことを目標にやっていた。時には学校、宿題、塾で3日で10題以上の長文を読んだこともありましたが、それによって力が付いたと感じました。

2次対策ですが、私はセンター後に学部・学科を変更したので、急に英語が必要になりました。センター対策のおかげで、英語への苦手意識はほとんどなくなっており、以前は手も出せなかった赤本を解くことを中心に勉強していました。また、英作文というセンターではなかった分野があったのですが、なるべく多くの問題を解くようにして先生に添削してもらいました。また、愛大の2次(どこでもそうかもしれませんが)は長文が多く、知らない単語が

出てくることも多かったので、センターで利用した「速読英単語」の初級編だけではなく上級編も利用して、一語でも語力を増やすようにしていました。とにかく、単語を知らないと言文も読めないし、英作文も書けないので、語力は重要です。私はこの受験を通じて、英語のおもしろさとか良さに気がきました。自分でもここまでよい結果が出てびっくりしています。ですから、英語が苦手だと思っている人は、やる気と根気があれば大丈夫です。ただ、すぐ結果が出ることもないので、すぐに勉強を始めて下さい。それぞれ事情はあると思いますが、始めた時期が早ければ早いほど力を高めることができます。皆さんの健闘を祈っています。(夏期講習／センター対策、難関読解受講)

東京大学 理2合格

F子(済美平成校07年卒現役)

高校1年の夏、大好きな英語をもっと得意教科にしたいという気持ちで私はアカデミーに入りました。学校での英語の授業には多少の余裕をもっていただいていた私ですがアカデミーの最初の授業で、自分の単語力の無さ、読解スピードの遅さを痛感させられました。そこで私は、この2つを同時に習得しようと、Z会の「速読英単語」をはじめました。この教材を使う際に心がけたことは、書くこと、声に出して読むこと、です。英語を一文声に出して読んで、その文の訳も声に出して読みました。難しかったり複雑な文では、訳を書くよう心がけました。訳を声に出したり書くことで、自分の訳のずれが鮮明に分かるのです。そして、その作業を繰り返す一つの長文を読み終えたら、今度はその長文を黙読でもう一通り訳してみます。その時間を先生にはかっけていただき、速読のトレーニングにしました。この作業を終えた後も、家などでふとした時間にもう一度英文を音読するようにしました。そうすることで、文に出てきた単語や文法が自然と身につきました。

高3では、二次対策をひたすらしました。東大は、問題形式が独特だったので、慣れも必要だと思い、先生が用意して下さる東大模試や赤本の過去問を授業でしました。また自由英作文は校長先生に添削していただくことで、ネイティブ(バーチ校長添削)の先生からみた自分の単語の使い方や文法の間違いに気がつくことができました。1年間で本当に多くの問題を用意してもらえたおかげで入試ではあせらず淡々と解答を進められました。英語は、日々触れ、慣れることが大切です。勉強の時以外でも、テレビ、音楽などで日常に溢れる英語にぜひ興味をもつようしてみてください。また、学習の時にはとにかく基礎を大事にしてください。基礎ができれば驚くほどにどんな英語もできるようになります。なかなか伸びずにしんどい時もあると思いますが、最後まで自分を信じてあげてください。応援しています。

(個人レッスン、リスニングコース)

神戸大学工学部 合格

G男(松山東06年卒現役)

僕が英語アカデミーにはいったのは中学2年の終わり頃でした。塾は行かない主義でしがらあまりの出来の悪さの為、通うことにしました。アカデミーに入ってから徐々に英語が出来るようになりました。テストでは半分ぐらいしかできなかったのが中学卒業前の期末テストで満点をとるまでに力がつきました。今思い付くポイントは3つです。

一つは英語をやる時間ができたことです。僕は週1で2時間のコースで決して十分な時間ではありませんでしたが、アカデミーではものすごく集中して取り組みました。先生にも質問しやすい雰囲気も時間的な事に加え自分に合っていたように思えます。

二つに、英語を好きになったことです。アカデミーに行き始めて英語が好きになりました。英語のテレビ番組を見たり(NHKは面白いしお勧め!)香取慎吾くんの「ベラベラブック」とかも覚えたりしました。遊び英漢字で全然苦になりませんでした。私は、英語が苦手でした。

三つ目にこれは大事です。それは書いてある英語を実際に訳して書いていくことです。「長文が読める」とは全く違います。英語は読めるのに点が取れない人はこれが不足しています。この逆の英作も非常に大切です。実はこれらはアカデミーの授業でしていた事です。受験にオススメなのはいわゆる「即ゼミ」「速単」です。この二つが完璧ならセンターと難関大以外の二次試験の英語はまず大丈夫です。あと毎日英語に触れる事が大事です。分量的な面からも「速単」はやはりオススメです。

最後に、僕は前期阪大を落ちて後期で神戸に合格しました。僕の高校の進路課長が「後期試験までは受験」と言った事を実践して前期試験のあとすぐ後期は向けて勉強を再開したのが良かったです。絶対に最後まで闘い抜く事を忘れないで下さい。英語アカデミーには本当に感謝しています。いままで本当にありがとうございました。神戸で頑張ります!

(通常コース／夏期講習／センター対策、難関読解受講)

東京外国語大学外国語学部合格

H子(松山東02年卒現役)

私は今、大学入試というものを終えて、これを書いているわけですが、今から思えば入試前のあの不安と緊張がうそのように思えます。これを読んでいるも皆さんも多かれ少なかれプレッシャーと戦わなければなりません。しかし、負けずに一生懸命勉強し目標を達成してください。そこで少しでも皆さんの足しになればと思い、私の勉強法を紹介したいと思います。

まず、単語は『速読英単語』必修、上級編だけで十分だと思います。この2冊を何度も繰り返して覚えるのがいいです。学校でも何冊か単語帳は配られました。私はひたすらこの2冊を覚え直しました。長文対策としては、時間を決めて、速読を心がけることが大事だと思います。そして、毎日読むことが必要不可欠です。1日でも読まなければ、英語力は落ちます。

もちろん、センター対策も忘れないでください。センターには、語句整序や文整序という独特の問題が含まれています。苦手分野は市販の問題集などで早めに克服するのがよいと思います。どんなに英語力のある人でもセンター対策を怠ることは許されません。

2次対策としては、東京外大に限れば、超長文ですので、赤本などでしっかり文に慣れることが大事だと思います。細部にこだわらず要旨をつかむことを心がけるとよいと思います。リスニングはアカデミーに特にお世話になりました。実際の過去問にあたり、他大学の問題にも挑戦したりして実践的な学習ができたと思います。家ではNHKのラジオを聞くのもよいと思います。リスニングも長文と同じで毎日聴くことが大事です。覚えるくらい何回も聴くよう心がけるとよいでしょう。

私のスタイルは、問題集を買ったらその1冊をとことん活用することです。覚えるくらい何度も解き、少々不安にもなりましたが、直前期にはそのような学習は大事だと思います。私は今までの模試なども解き直しました。

皆さんに私の方法が合うかどうかは分かりませんが、早めに勉強に取りかかると自分のスタイルを見つけてがんばってください。

(夏期講習／リスニング対策受講)